

公表

児童発達支援

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 8 年 2 月 16日			
瑞浪市子ども発達支援センターぼけっと					
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・利用定員や対象児を想定した設計となっている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・基準以上の人員配置で、個別で丁寧な支援ができるようにしている。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・子どもに分かりやすい指導室名の名称設定や、表示をしている。 ・指導時間に応じて、利用者と利用指導室を玄関に掲示している。 ・乳幼児～学齢児まで、年齢に応じたトイレを設置している。 ・階段に幼児用、大人用の手すりを設置している。 ・エレベーターを設置し、上下階への移動に配慮している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・清掃、玩具整理等を、毎日行っている。 ・定期的に清掃業者による清掃を行っている。 ・引き戸にする等、安全面に配慮している。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・必要に応じ、個別で利用できる指導室が用意されている。 ・子どもの状態や保護者の相談等によって、支援者や管理者が使用を決めることができる。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・年度始めに業務目標を職員会にて設定している。 ・定期的に職員会等で話し合い、その都度改善を行なっている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・年度毎に、保護者に向けてアンケートを実施している。 ・結果を受けて、施設面、支援面、衛生面、行事等について振り返り、改善を行うようにしている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・職員会等の中で、支援や行事に関しての気づきを話しあう時間があり、意見を受けて活動内容や支援について検討、改善を行っている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・運営委員会にて、各関係機関より助言を受けている。 ⇒運営委員：福祉、保健、保育、教育、学識経験者等 ⇒内容：活動や実績等についての報告等
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・自主研究会（年2回）を実施している。 ・東濃地区障害児指導方法研究会等に参加している。 ・福祉制度や発達障害に関する研修等を受講している。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		・公表している支援プログラムに沿った支援を行っている。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・面談を行い、親子のニーズを受けつつ、発達支援課題を整理し、個別支援計画を作成している。 ※アセスメントシートの内容（成育歴、保護者心理やニーズ、家庭の様子、集団生活の様子、各発達課題についての把握、支援方針、支援目標等）
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		・個別支援計画作成会議において、支援の様子や子どもの困り感、好きな活動等のストレングスの視点も持って、保護者の思い等も踏まえた検討を行っている。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・子どもの実態やニーズ、保護者ニーズにそった計画を作成し、個別支援計画作成会議で共有し、支援提供できるようにしている。

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ、発達質問紙を利用し、実態把握を行っている。 ・各種検査結果も参考にしている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿った計画作成に努めている。 ・就園支援として、こども家庭課や各園への情報提供を行っている。 ・就学支援として、教育委員会と連携しての園訪問、学校訪問等を行っている。 ・夏祭り、親子バス遠足、クリスマス会等、各種行事を実施し、家族支援や地域交流等を行っている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前に打ち合わせを実施している。 ・配慮する点や活動内容等について職員間で共有している。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの実態やニーズ、保護者ニーズに合わせて、柔軟なプログラム構成になるよう努めている。 ・通常支援に併せ、グループ活動・体験学習・各種行事等を行なっている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの発達に合わせた個別活動を行うようにしている。 ・大人との信頼関係を基盤に、子ども同士の関わりが持てるよう、グループ活動も取り入れている。 ・また、上記の内容を個別支援計画に記載している。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前に打ち合わせを実施している。 ・配慮する点や活動内容等について職員間で共有している。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後の支援記録作成時等に情報共有をしている。 ・ケースについての必要な情報共有をその都度行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後に支援記録(活動内容・様子等)を作成している。 ・家庭の状況や発達状況の変化等、必要な情報についても記録している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的（6カ月毎）にモニタリングを行なっている。 ・随時必要に応じて見直しをすることとしている。
関係機関や保	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員、児童発達管理責任者で対応している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・保健センターとの情報共有、園訪問等、子どもや家庭を取り巻く関係機関で、必要に応じて随時連携をとりながら支援を行うようにしている。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画等を基にし、支援方法等の共有を図っている。 ・園訪問を定期的に実施している。(園の様子の把握、ケース検討会等) ・研究会を実施し、園と子どもの支援等を共有・検討の機会としている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・移行支援として、学校との情報共有を行っている。 ⇒教育委員会への情報提供。 担当教員との情報共有を図る為、連絡会を実施。 学校訪問を行い、学校生活の状況を把握。 ・必要に応じてケース会議を行い、学校と連携して支援方法を共有している。
	28	<div>(28～30は、センターのみ回答)</div> <div>地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。</div>			

護 者 と の 連 携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		<ul style="list-style-type: none"> ・研究会（公開療育）にて、助言等を受けている。 ・東濃地区障害児指導方法研究会等に参加している。 ・他施設等と情報交換や検討等を行っている。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・就園に向けた支援、情報提供を行っている。 ・各種行事で、ボランティアやきょうだいの関わりを機会を設けている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後に、担当者が保護者との情報交換や話し合いを行っている。生活状況を把握し、子どもの発達状況、支援方法や心理等について共有をしている。
保 護 者 へ の 説 明 等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭での接し方（生活面、遊び、運動、手先、ことば等）について一緒に検討している。 ・保護者の話や気持ちを受けとめ、気持ちの整理等ができるように支援している。 ・ペアレントトレーニング(全6回・1グループ)を実施した。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に重要事項説明書で説明をしている。 ・利用者負担額については市の助成制度等について説明している。 ・運営規程等の重要事項に関する事項を掲示している。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援後の話し合いやモニタリングで、現状の困り感や意向について確認するようにしている。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容や目標等について、保護者に説明をし、同意を受けている。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後に保護者との情報交換や話し合いをしている。 ・6か月ごとのモニタリング時に相談に応じ、必要な助言等を行っている。その他、必要な相談には、担当職員や児発管で随時対応している。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・親の会と共同で、学習会や各種行事を行なっている。準備等協力しながら実施している。 ・座談会を行い、保護者同士の繋がりが持てるよう支援している。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後の話し合いの中で対応している。 ・必要に応じて随時時間を設けて対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・お便りを月に一回発行。紙面で配布と共にHPに公表している。 ・行事や各種学習会等のお知らせ文書を、随時発行。 ※配布先・・・保護者、市内関係機関（福祉、保育、保健、教育福祉関係機関等）
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約書第8条の3に応じて対応している。 ・保護者の同意に基づいた個人情報提供をしている。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの持っている能力や発達の特徴を活かすことや、子どもの気持ちを尊重する事を心掛けている。 ・保護者に分かりやすい資料提供を心掛けている。 ・記録の表示の仕方等を保護者と検討し、ニーズに合わせている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・民間団体や地域学生等のボランティア協力が得られている。 ・地域ボランティアに植栽管理を援助してもらっている。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・各種対応マニュアルを策定し、職員間で周知している。 ・マニュアルを館内に掲示、または閲覧できるようにしている。 ・防犯訓練等、必要な訓練を実施している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・BCPを策定し、研修・訓練を計画的に実施している。 ・非常災害時の対応についても職員間で共有している。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントの際に把握している。 ・随時、保護者との話し合いにより確認している。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・食事提供なし。 ・通所開始時に、アレルギーについて調査、把握している。 ・子どもの健康状態を把握し、子どもに合った対応をしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成し、計画に沿って定期的に研修・訓練を行っている。 ・関連マニュアルも閲覧できるように用意している。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・指導開始時や、年度初めに安全計画について説明を行い、紙面での配布も行っている。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・危険な場所等がないが、職員間で定期的に点検している。 ・ヒヤリハットの記録をすると共に、対応について職員間で協議の上、事故防止対策を行っている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止委員会を設置し、責任者、虐待防止マネージャーを配置している。 ・研修を管理者が受講後、職員間で研修内容について周知できるようにしている。定期的な委員会・研修を実施している。 ・全職員で虐待防止チェックリストを月1回実施している。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束適正化委員会を設置。定期的に、会議や研修を実施している。 ・身体拘束を行う必要がある場合は、個別支援計画に記載することになっている。